



平成30年 9月 7日

国土交通省 中部地方整備局

矢作ダム管理所

台風21号における矢作ダムの洪水調節効果について

【速報版】

1. 内 容

9月4日の台風21号に伴う出水について、矢作ダムによる洪水調節効果を試算しました。

2. 配 布 先

豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ

3. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 矢作ダム管理所
建設専門官 安藤 尚也

TEL : 0565-68-2321

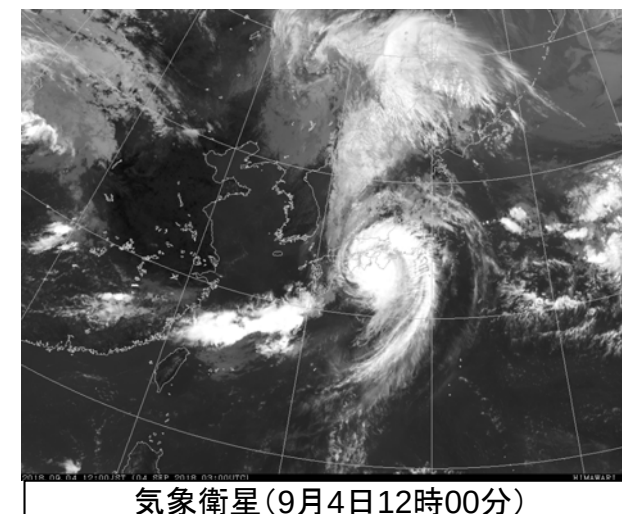
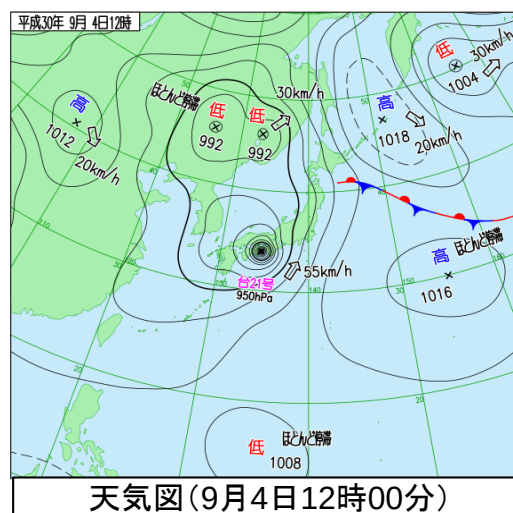
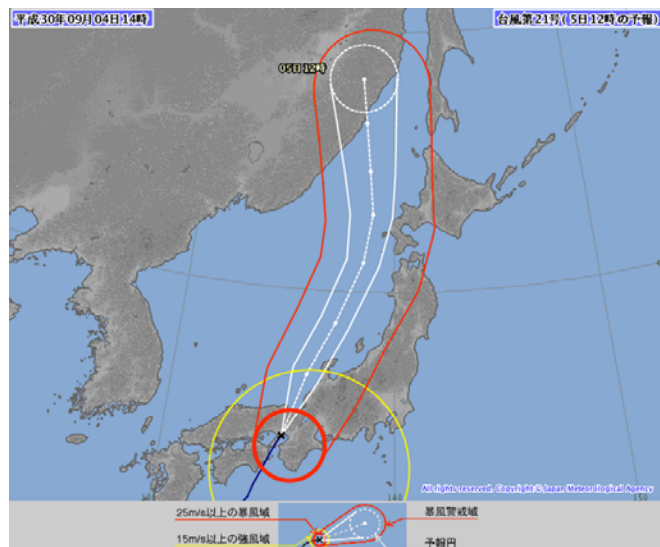
事務所HP : <http://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi/>

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

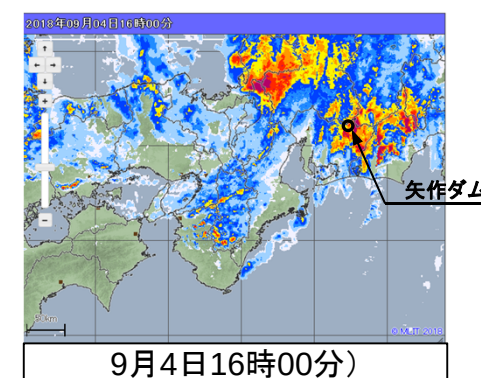
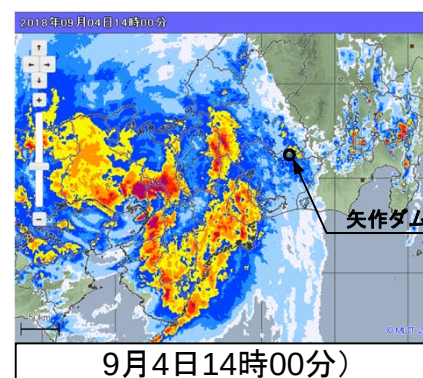
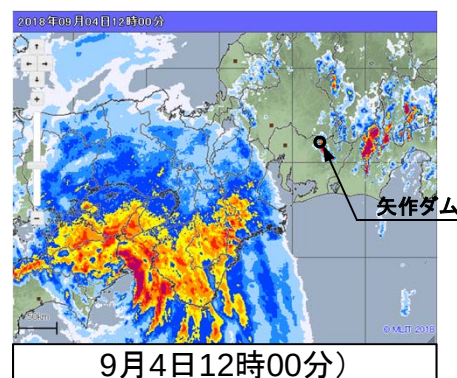
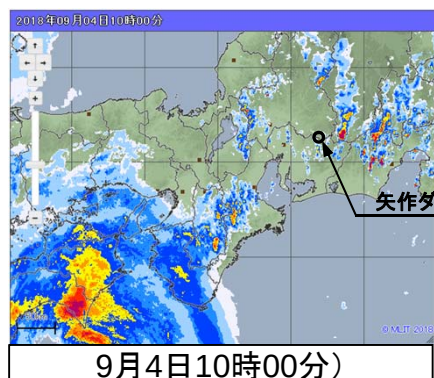
国土交通省
中部地方整備局

○台風21号の影響により、台風を取り巻く発達した雨雲が東日本と西日本の広い範囲にかかり、広範囲に非常に激しい降雨をもたらし、各地で記録的な豪雨となりました。

○矢作ダムでは、4日の降り始めからの累計雨量は200mmを超え、最大時間雨量も34.6mm/hを記録しました。



レーダー雨量

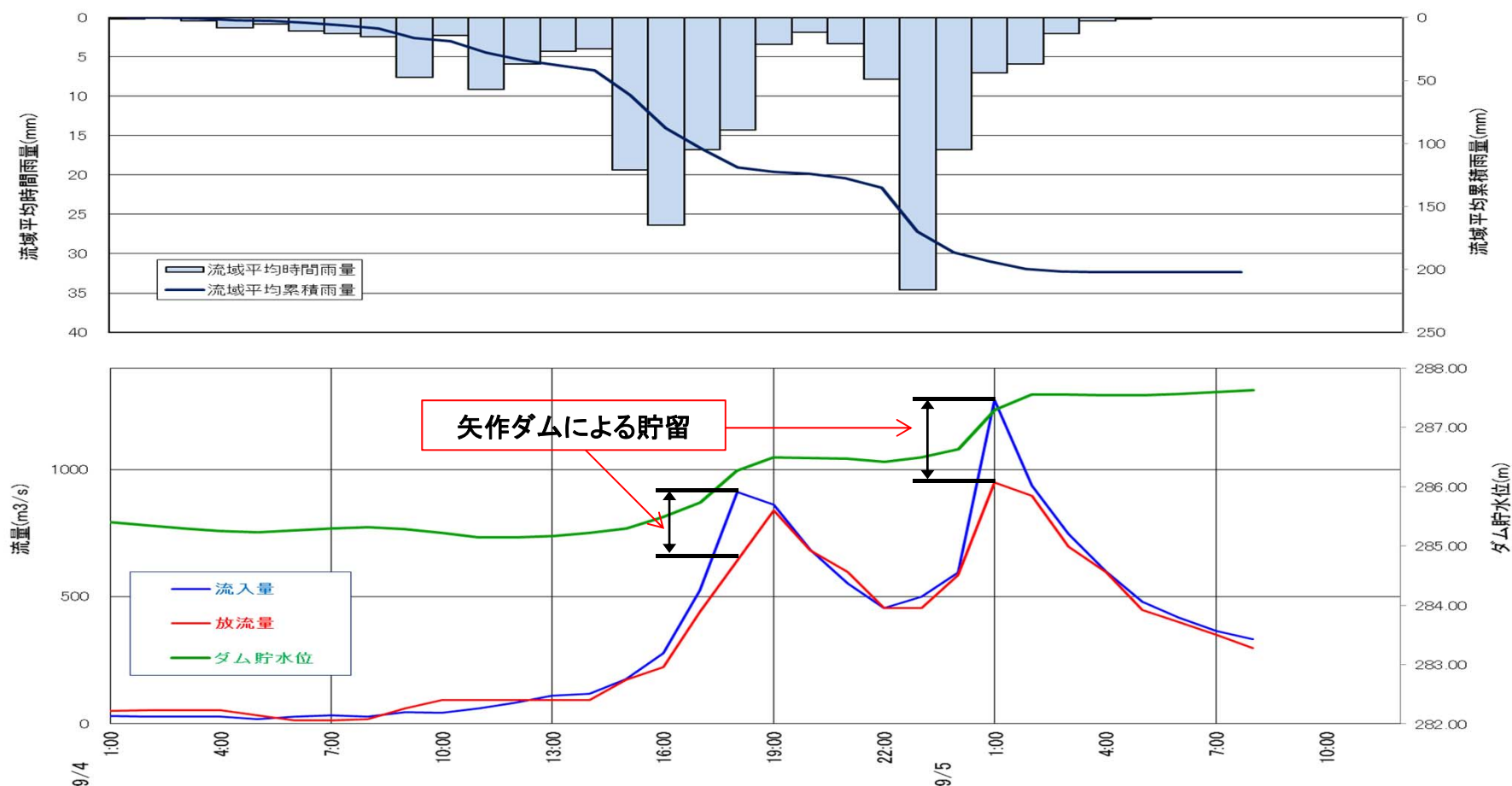


注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部訂正や追加することがあります。

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

国土交通省
中部地方整備局

- 台風21号の影響により、4日の降り始めからの累計雨量は200mmを超え、最大時間雨量も34.6mm/hを記録しました。
- 矢作ダムでは4日14:30から防災操作を開始し、下流の洪水被害を軽減するため2回に渡り洪水調節を実施しました。
- 洪水調節を実施しなかった場合、阿摺ダム下流地点（河口から54.2km）の左岸堤防の一部で堤防高を約50cm越えていたと想定されます。



注)このグラフは毎正時のデータを使用しています。瞬時のデータで見ると最大流入量は5日0:55の1324m³/sであり、最大低減効果量は約370m³/sとなります。

注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部訂正や追加することがあります。

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

国土交通省
中部地方整備局



○台風21号の影響により、矢作ダム地点で最大流入量1,324m³/sを観測しましたが、矢作ダムでの防災操作により、ダムに洪水を貯留したことから下流へ流れる洪水の量を最大で約370m³/s軽減することができました。

○よって、ダムがない場合と比較して、矢作川の水位は、阿摺ダム下流地点（河口から54.2km）で約96cmの低減効果があったものと推定されます。

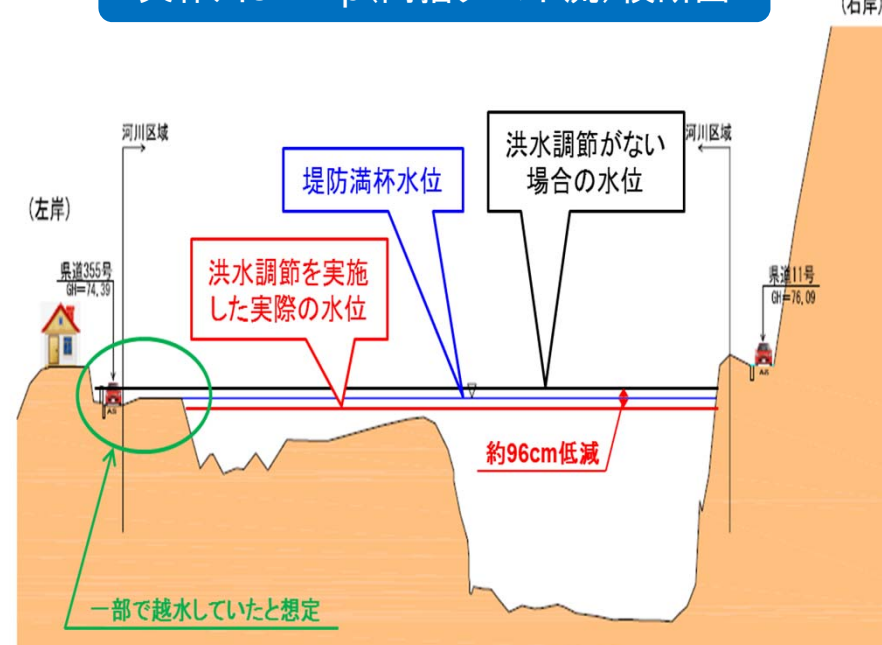
○また、直轄管理区間の岩津地点ではダムがない場合と比較して約11cmの低減効果があったと試算しています。

○矢作ダムでは、大きな出水であった東海（^{けいなん}恵南）豪雨と同程度の洪水が再来した場合でもダムが効果を発揮できるようダム再生に今年度から着手しました。引き続き、河川改修・ダム整備の推進に努めて参ります。

矢作川29.2kp(岩津地点)横断図



矢作川54.2kp(阿摺ダム下流)横断図



注)この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部訂正や追加することがあります。